設　　計　　書

野沢町配水管新設工事その2

鹿　沼　市　　野沢町

工　　期　　日　平成29年3月20日まで

設　　計　　概　　要

施行延長　L＝533.0m

PPφ100　L＝195.0m

PPφ50　L＝338.0m

排泥弁　1基

検算者
設計者

鹿　　沼　　市　　役　　所　　（甲－1）

設　　計　　書

事　業　費　　円

内　訳

工事費	円
本工事費	円
（内消費税相当額	円）
用地費	円
補償費	円
測試費	円
事務費	円

変更前回実施			変更今回		
設計額	工事価格		設計額	工事価格	
	消費税			消費税	
	請負工事費			請負工事費	
請負額	請負価格		請負額	請負価格	
	消費税			消費税	
	請負代金			請負代金	
請負率			増減額		

変更理由

鹿　沼　市　役　所　　（甲－２）

土 木 工 事 仕 様 書

平成28年6月1日適用

Ⅰ 共通仕様

1. 工事仕様については下記の通りとする。

（1）河川工事、砂防工事、道路工事、公園工事、下水道工事及びこれらに類する工事は下記の共通仕様書に準拠し施工する。

栃木県県土整備部発行の土木工事共通仕様書

http://www.pref.tochigi.lg.jp/h02/town/koukyoujigyou/kensetsu/h25kyoutuusiyousyo.html

（2）土地改良工事、農道整備工事、農業集落排水工事、農村公園工事及びこれらに類する工事は下記の共通仕様書に準拠し施工する。

①栃木県農政部発行の土木工事共通仕様書

http://www.pref.tochigi.lg.jp/g02/kyotuusiyousyo.html

②栃木県県土整備部発行の土木工事共通仕様書

http://www.pref.tochigi.lg.jp/h02/town/koukyoujigyou/kensetsu/h25kyoutuusiyousyo.html

（3）治山工事、林道工事、自然公園等施設工事その他これらに類する工事または森林整備業務にかかわる工事は下記の共通仕様書に準拠し施工する。

①栃木県環境森林部発行の土木工事共通仕様書

http://www.pref.tochigi.lg.jp/d08/documents/20140331.html

②栃木県県土整備部発行の土木工事共通仕様書

http://www.pref.tochigi.lg.jp/h02/town/koukyoujigyou/kensetsu/h25kyoutuusiyousyo.html

（4）水道工事（導水管、送水管、及び配水管）その他これらに類する工事は下記の共通仕様書に準拠し施工する。

①栃木県県土整備部発行の土木工事共通仕様書

http://www.pref.tochigi.lg.jp/h02/town/koukyoujigyou/kensetsu/h25kyoutuusiyousyo.html

②日本水道協会の発行する水道工事標準仕様書

http://www.jwwa.or.jp/

なお、最新情報及び改訂版等の管理は表記 URL を参照し、内容等に疑義が生じた場合は、監督職員と協議すること。

２．　資材の購入及び下請負業者の選定について

（１）本工事において、市内で産出、生産又は製造される資材等の規格品質等が設計図書の仕様に適合すると認められる場合は優先して使用するよう努めること。また、資材購入についても市内業者より購入するよう努めること。

（２）下請負業者の選定に当っては、市内業者を優先的に使用するよう努めること。また、指名競争入札における相指名業者を下請負業者に選定してはならない。

（３）一次下請業者に対する工事代金の支払いは、速やかに現金又は９０日以内の手形で行うものとする。

３．　成果品の電子納品について

請負者は、原則として成果品の電子納品を実施しなければならない。電子納品に当っては、『鹿沼市電子納品運用ガイドライン（案）』を遵守すること。

４．工事看板の設置基準について

工事看板の設置は鹿沼市財務部契約検査課 HP 更新履歴（2007 年 12 月 18 日付）を参照すること。

５．建設発生土の処分について

請負者は、建設発生土については前記１の工事仕様に定めることのほか、次のことに注意し施工しなければならない。

（１）残土運搬・残土処理する場合は、関連する諸法令に充分注意し、関係機関と協議するとともに、その旨を監督職員に書面にて報告しなければならない。

（２）土質試験項目等については、『鹿沼市土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生の防止に関する条例』及び『鹿沼市土砂等の埋立て等による土壌の汚染及び災害の発生の防止に関する施行規則』による。

Ⅱ　特記仕様

１．　工事資料の提出について

請負者は、工事資料の作成にあたって別紙の鹿沼市工事資料一覧表を参照すること。

２．その他

別途特記仕様書の通り。

別紙―1

鹿沼市工事資料一覧表

H27．5．1

※1　**1．提出書類**

No.	工　事　資　料　名	500万円未満※4	検査資料	500万円以上	検査資料	備　　考
1	施工体系図	△	△	△	△	建24の7、建則14の6、仕1-1-10
2	施工体制台帳	△	△	△	△	建24の7、建則14の6、仕1-1-10
3	再生資源利用・利促進(実施)書（計画書は施工計画書）、データ(FD)	○	●	○	●	仕1-1-18、栃木県建設副産物管理基準
4	建設副産物処理承認申請書・同処理調書(産廃処理業者及び収集運搬業者の許可証と契約書写し、処理場等書類と写真添付)	○	●	○	●	仕1-1-18、栃木県建設副産物管理基準
5	設計図書照査表			○※2	●	契19、仕1-1-3
6	工事履行報告書(工事実施工程表含む)：毎月			○	●	契13、仕1-1-24
7	工事打合せ簿総括表、工事打合せ簿（指示・協議・通知・承諾・提出・報告・その他）	○	●	○	●	契11Ⅱ④、仕3編1-1-9
8	確認・立会願・段階確認書（状況写真添付）			○	●	契11Ⅱ③、仕3編1-1-6
9	工事写真（監督員が指示した場合のみインデックスプリントを提出）	○	●	○	●	契約16、鹿沼市電子納品ガイドライン
10	使用材料報告書(承認願)（再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ(RC材)骨材品質確認状況報告書含む）	○	●	○	●	契15、仕3編1-1-6、再生材の利用基準
11	施工計画書（再生資源利用・利用促進計画書含む）	○※3	●	○※3	●	仕1-1-4、土木工事施工計画書作成の手引き
12	施工管理報告書（品質管理、出来形管理）	○	●	○	●	仕1-1-23（出来形・品質）
13	台帳関係（舗装・橋梁・照明・標識等）、工事完成図	該当がある場合				仕1-1-19、特記仕様書
14	電子納品成果品（事前協議チェックシート、電子媒体納品書含む）	電子納品範囲については監督員との協議による				鹿沼市電子納品ガイドライン
15	その他	監督員が必要と認める資料				
		○：作成資料 ●：検査で確認する資料 △：該当する場合に作成する資料（検査で確認）				

・様式については栃木県土木工事共通仕様書様式集を参照する。

※1　提出書類とは、施工に伴い作成する資料であって、完成時には現場とともに引き渡す書類である。

※2　500万以上すべて提出とする。
様式総―3のうち、『栃木県建設工事(変更)請負契約書第19条第1項及び』の記載を削除する。

※3　500万未満の施工計画書に記載する事項
1　工事概要
2　現場組織表
3　緊急時の施工体制及び対応
4　再生資源利用・利用促進（計画）書
5　その他（請負者・発注者が工事施工上必要な事項）

※4　請負額100万円未満の工事資料については、工事写真と出来形のわかる資料とする。（施工計画書等は不要）

注）

建	建設業法
建則	建設業法施工規則
廃掃	廃棄物処理法
安	労働安全衛生法
安則	労働安全衛生規則
労基	労働基準法
土指針	土木工事安全施工技術指針
契	鹿沼市建設工事請負契約書
仕	栃木県土木工事共通仕様書
考査	考査項目別運用表

※5　**2．請負者手持ち資料（検査を受けた年度の翌年から5年間保存）**

No.	工　事　資　料　名	検査資料	備　　考
1	安全教育実施記録簿(写真添付)		仕1-1-26
2	産業廃棄物マニフェスト	△	廃掃12の3、仕1-1-18
3	建退共証紙購入報告書・建退共証紙受払簿		仕1-1-40
4	有資格者証写し一覧表(元請け、下請け)		安4、安則16
5	新規入場者教育実施記録簿(状況写真添付)		安則15
6	KY 活動等実施記録簿(状況写真添付)		安則24の11
7	重機等の検査証写し及び点検記録簿(自主点検票写真)		安則169
8	重機作業における誘導員及び人との分離措置状況写真		安則158
9	作業員名簿(自社・下請)		労基107
10	社内パトロール実施記録簿(状況写真添付)		考査
11	保安施設記録資料		土指針2-2,3
12	山留め、仮締切等の設置後点検記録		安則375
13	足場、支保工等の設置後点検記録		安則567
14	安全協議会等の実施記録簿(状況写真添付)		考査
15	各種安全パトロール指摘事項是正報告書		考査
16	舗装切取りコア等（500㎡未満で異常が認められない場合には不要、確認は納入伝票等で行うものとする。	△	仕1-1-23(出来形・品質)
17	工事カルテ(請負額500 万円以上)		仕1-1-5
18	交通整理員集計表及び伝票	△	仕1-1-23(出来形・品質)
19	創意工夫提案資料(状況写真添付)		考査
20	各機関等許可証等		仕1-1-35
21	地域ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ、ボランティア活動記録(状況写真添付)	△	考査
		△該当がある場合は（検査で確認する資料）	

※5　請負者手持ち資料とは、発注者に提出を要しないもの。ただし、施工段階あるいは完成検査時に、必要に応じて確認を求めることがあるもの。（原本・原本等提示）

特　記　仕　様　書

（平成２３年９月改定）

鹿　沼　市　水　道　部

第１章　　総　　則

１．適用範囲

本仕様書は、鹿沼市水道部の発注する配管工事に適用する。

２．総括事項

１）　請負者は、本請負契約約款によるほか、本特記仕様書に基づき、誠実厳格に施工しなければならない。

２）　仕様書及び設計書等に明記されていないもの、または、交互符号しないものがある場合には、発注者と請負者が協議して定めるものとする。

３．優先順位

１）現場説明質疑応答

２）監督員の指示

３）特記仕様書

４）水道工事標準仕様書（日本水道協会発行）

５）設計書

４．障害物の処理

工事施工にあたり、他の埋設物及び障害物があった場合は、監督員の指示により、処置するものとする。また、埋設物等に損害を与えた場合は、請負者の負担において速やかに復旧すること。

５．保安衛生

１）　工事現場の管理は、労働基準法及び労働安全衛生法等の関連法令に従って、適切な施設を施し、事故防止等に十分注意しなければならない。

２）　現場内は常に整理整頓し、一部工事を終了したときは、その部分毎に後片付け及び清掃を行い、清潔さを保持するよう努めなければならない。

３）　工事施工場所を明示する標識及び、安全維持に必要な設備を設けなければならない。

４）　工事は昼間行うことを原則とするが、現場の状況によりやむなく夜間作業を行う場合は、あらかじめ監督員の許可を得るとともに、照明その他の保安設備を設けなければならない。

５）　請負者は、工事施工のため通行を禁止あるいは規制する必要があるときは、関係官公署と十分協議し指示を得て、必要な箇所に標識を設置するとともに、事故防止等に万全を期さなければならない。

６．対外補償及び保護

１）　工事に使用する道路は常に路面状態を監視し、通行車両等や地区住民に迷惑をおよぼさないよう、留意しなければならない。

２）　工事中は、人畜・構造物・田畑・作物等に損傷を与えないよう、注意しなければならない。万一損傷を与えた場合は、請負者の負担において、速やかに補償または原形に復すること。

７．目的物保証期間

１）　工事の目的物に瑕疵がある時は、請負者は引渡しの日から２年間その瑕疵を補修し、または、その瑕疵によって生じた滅失もしくは棄損に対し、損害を賠償しなければならない。ただし、この瑕疵が、請負者の故意又は重大な過失により生じた場合は、保証期間は無期限とする。

８．材　料

１）　工事に使用する材料は、ＪＩＳ、JWWA 及び鹿沼市給水装置標準仕様書の該当規格に適合したものであり、且つ、水道部の承認を受けたものでなければならない。ただし、規格適合品以外で、適合品と同等以上であり、水道部の承認を受けた材料は、使用できるものとする。

２）　工事に使用する材料は、使用前にその品質及び寸法等について監督員の検査を受け、合格したものであること。なお、合格品については、請負者の責任において、変質、不良化しないように保管すること。

第２章　　工　事　全　般

１．一般事項

本特記仕様書及び日本水道協会発行の「水道工事標準仕様書」（Ⅱ．管布設工事）を適用する。

２．測　点

監督員と協議の上、起点から、５０ｍもしくは３０ｍごとに測点を設定し、施工管理、写真管理などは、これを基準にして行う。また、道路の変化点、特殊材料使用箇所などにも中間測点を設定し、管理を行う。

３．土　工

１）掘削工

①　掘削断面は設計書の掘削幅を確保し、管布設作業及び接合作業が完全を期せるよう掘削しなければならない。

なお、埋設物等には十分注意を払い掘削すること。

②　掘削機械は、作業状況に適したものを使用すること。

２）埋戻し工

①　山砂埋戻しは、片埋めにならないように注意し、十分締め固めること。

②　発生土埋戻しは、各層２０ｃｍ毎にタンパにて転圧し、十分締め固めること。

③　砕石埋戻しの場合も、発生土埋戻しと同様とする。

３）残土処理

①　一般土砂については、最適地を確保し、確実に処理すること。

②　As 塊、Co 塊については、指定された処理施設へ、確実に運搬すること。

４．管布設工

１）管路布設位置

管路の布設位置は、設計書を参照し、監督員と協議の上、決定すること。

２）布設工事

管布設工事は、漏水等の原因にならないよう、厳格に施工すること。特に、工事中、管内部に土砂等が混入しないよう適切な処理（仮蓋等）をすること。

３）既設管との接続等

既設管の位置､深度、口径等を確認し、接続工事及び泥吐き工の計画を監督員と十分協議の上、監督員の指示・立ち会いのもと、円滑に作業を進めること。

なお、バルブを操作する場合には必ず監督員と協議すること。

４）管明示工

本管には明示テープ及び水道用マーカーピン（フジテコム製ＭＫ･ＩＷ）並びに埋設シートを､施すものとする。

５）施工資格

①　ダクタイル鋳鉄管(NS 型)の配管・施工に従事する者は日本水道協会「配水管技能者証（耐震登録)」、日本水道協会配水管工技能講習会 I（一般・耐震）及び他の水道事業管理者の行った同種の講習の受講修了者でなければならない。

②　ダクタイル鋳鉄管φ400mm 以上の施工に従事するものは、日本水道協会「大口径講習会」、もしくは日本ダクタイル鉄管協会の研修会（NSφ450mm 以下）の受講修了者でなければならない。

③　ポリエチレン管（EF 継手）の施工に従事する者は、日本水道協会等の技術講習会の受講修了者でなければならない。

④　ダクタイル鋳鉄管（NS 型）及びポリエチレン管（EF 継手）の施工に従事するものは施工前に上記の証明書または資格証の写しを提出すること。

６）管の取扱い

①　管や継手は、傷つき易いため、損傷させないよう丁寧に扱うこと。

②　管は劣化を防ぐため、防護カバー等で直射日光（紫外線）を避けて保管すること。なお、管の保管は原則屋内とし、やむを得ず屋外に保管する場合は、直射日光、雨等に晒さないようシート等で覆いをすること。

③　ポリエチレン管施工にあたり、融着接合中に停電等の異常が発生した場合、継手の再使用又は再融着は行わないこと。

④　配管にあたり、取扱い時に使用上有害な欠点を発見した場合、その部分を切断切除すること。

⑤　給水管等の圧着施工を行う場合は施工部を保護すること。

７）施工管理

ポリエチレン管（EF 継手)、ダクタイル鋳鉄管（NS 型）施工においては、継手全てに「継手チェックシート」を作成し管理し、完成図書に添付すること。

５．土　留　工

土留工を設置する必要がある工事については、設計書に従い完全に施工し、作業の安全を確保すること。

６．通路の確保

一般道路では片側通行を確保し、また、通行止めのできる道路でも住民及び耕作車等の通行に支障のないように覆工等を行い、安全を確保すること。また、舗装復旧については即日復旧すること。

７．水圧試験

配管工事完了後、管内に充水し十分な泥吐き及び空気抜きを行い、監督員の立ち会いのもと、０．７　５ＭＰａ(もしくは７．７Ｋｇ／ｃ㎡)の水圧において試験を行うこと。ただし、自然水圧が０．７５ＭＰａ(もしくは７．７Ｋｇ／ｃ㎡)以上の場合は、０．１ＭＰａ(もしくは１．０Ｋｇ／ｃ㎡)加圧すること。

８．掘削検査

仮復旧施工前（本復旧がある場合は仮復旧施工後）に掘削検査を行い、土被り、山砂厚、埋戻し厚（発生土・砕石）、路盤厚等を確認する。

９．舗　装　工

１）　路盤工については、各層１５ｃｍ毎（最大厚）に所定の機械にて転圧すること。また、所定の密度があることを確認し、試験成績表を提出すること。

２）　表層工（仮復旧・本復旧）については、所定の機械を使用して転圧すること。また、所定の密度があることを確認し、試験成績表を提出すること。

１０．工事記録写真

１）　監督員の指示により撮影し、提出すること。特に、掘削幅（上幅・下幅）、埋設深、使用材料設置状況（特に、接続材料、制水弁、止水栓等）、埋戻し転圧状況、路盤工転圧状況、接続箇所（起終点含む）、位置等（路肩構造物等からの距離等）が、すべて確認できるものでなければならない。

２）　ＥＦ接合での施工の場合、継手部に開始・冷却終了時刻、日付を記入し、接合部の施工が良好である事が確認できるよう記録する。

３）　工事箇所が国・県道の場合、完成検査後に路盤転圧時の写真、完成後の現場写真を用紙１枚に１枚ずつ添付し、提出すること。

１１．施　工　図（配管図）

管路施設の詳細が確認できる配管図を作成し、提出すること。また、制水弁及び消火栓については、位置が確認できる図面（路肩構造物等からの距離等）を作成し、提出すること。

１２．残土処理報告書

一般土砂については、写真及び経路図、位置図を添付の上、残土処理報告書（処分地所有者の印要）を提出すること。また、アスファルト廃材などについては、写真及び処分地までの経路図を添付の上、廃材処理伝票（マニフェスト・Ｅ票のコピー）を提出すること。

１３．伝　票

使用材料の納入伝票は、完了検査時に検査官から提出要請があった場合、速やかに提出すること。

１４．その他

本仕様書に記載されている事項以外で、設計内容・施工内容に疑義が生じたときは、監督員と相談すること。請負業者の独断で、施工してはならない。

一般的な工事の場合の交通誘導員人数

交通誘導員については、警備業法による警備員とし配置場所は監督員と協議するものとする。

なお、警備員は、下表のとおり延べ　　44　人見込んでいるが、警察等の協議により変更が生じた場合等は別途協議する。

区分	現 場 条 件	交通誘導員A			交通誘導員B		
		日数	配置	人数	日数	配置	人数
1	昼間勤務(8:00～17:00) 実働8時間(交替要員無し)			0	22	2	44
2	昼間勤務(8:00～17:00) 実働9時間(交替要員有り)			0			0
3	夜間勤務(20:00～5:00) 実働8時間(交替要員無し)			0			0
4	夜間勤務(20:00～5:00) 実働9時間(交替要員有り)			0			0
5	24時間勤務 実働22時間(交替要員無し)			0			0
6	24時間勤務 実働24時間(交替要員有り)			0			0

積　算　情　報　表

(28K0000020-0)

項　　目	内　　容	項　　目	内　　容
積算区分	実施		
変更回数	当初		
積算基準年度	平成28年度厚労省諸経費改訂(消費税8%)		
設計書番号	28K0000020-0		
当初･変更区分	0		
施行主体名	鹿沼市		
設計書名(1行目)	野沢町配水管新設工事その2		
設計書名(2行目)			
設計書名(3行目)			
単価適用地区	21 鹿沼土木事務所管内		
単価適用日付	平成28年10月10日 (24)		
適用率	01 開削工事及び小口径推進工事		
共通仮設費補正	地方部(交通等影響あり)		
現場管理地域補正	地方部(交通等影響あり)		
前払支払率	40%		
ｲﾒｰｼﾞｱｯﾌﾟ補正率	補正なし		
契約保証費率	金銭的保証		
夜間補正区分	0 =　補正なし		
夜間補正率	0%		
工期日数	0日		
工期	平成29年3月20日まで		

〈 概 要 〉

施行延長　L＝533.0m
PPφ100　L＝195.0m
PPφ50　L＝338.0m
排泥弁　1基

本 工 事 内 訳 表

費 目	工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
本工事費					式	1			
	配水管布設工				式	1			
		材料費			式	1			第1号明細表
		布設工			式	1			第2号明細表
		土工事			式	1			第3号明細表
		舗装工			式	1			第4号明細表
	合 計								

本 工 事 内 訳 表

費 目	工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
	直接工事費								
		対象外費			式	1			
			管材費		式	1			
		対象額							
		率計算分			式	1			
		安全費			式	1			第5号明細表
		技術管理費			式	1			第6号明細表
	共通仮設費計								
	純工事費								
		対象外費			式	1			

本 工 事 内 訳 表

費 目	工 種	種 別	細 別	規 格	単位	数 量	単 価	金 額	摘 要
		対象額							
	現場管理費				式	1			
	工事原価								
		対象額							
		一般管理費			式	1			
		契約保証費			式	1			
	一般管理費計								
	工事価格								
	工事価格計								
		消費税相当額			式	1			

本　工　事　内　訳　表

費 目	工　　種	種　　別	細　　別	規　　格	単位	数　　量	単　　価	金　　額	摘　　要
	本工事費								

第1号の1 A011000 A01

材料費 1式当たり明細表

名称	規格	単位	数量	単価	金額	雑	摘要
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管φ100mm		式	1				
EF片受直管	φ１００ Ｌ＝5.0m	本	38				FPE006
PE直管	φ１００ Ｌ＝5.0m	本	1				FPE002
EFﾌﾗﾝｼﾞ短管 (G型)	φ１００	個	1				FEF006
六角ボルト/ナット φ７５～φ１５０用		組	4				EBOL10
PE用管栓帽	φ１００ 鋳鉄製	個	1				FET026
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管φ50mm以下		式	1				
ポリエチレン管	φ50 軟質２層管	m	338				FPP005
ＰＰ用アダプターオス	φ５０	個	1				FKA005
ＰＰ用ソケット	φ５０	個	8				FKS005

第1号の2 A011000 A01

材料費 1式当たり明細表

名称	規格	単位	数量	単価	金額	雑	摘要
ＶＰ直管	φ５０ Ｌ＝５．０ｍ	本	2				FVP005
砲金制水弁	φ５０	個	1				FS0005
ＰＰ用メーターユニオン	φ５０	個	1				FKM005
パッキン	φ５０	個	2				FP0005
ＴＳﾕﾆｵﾝｿｹｯﾄ	φ５０	個	1				FTSY05
ガイドナット	φ５０	個	1				FN0005
ＴＳソケット	φ５０	個	2				FTSS05
ＴＳエルボ	φ５０	個	2				FTSL05
排水弁筐	浅層埋設用（中型） 口径/管種表示付	個	1				EV0014
座台	各タイプ共通	枚	1				EVZ000

第1号の3 A011000 A01

材料費 1式当たり明細表

名　称	規　格	単位	数　量	単　価	金　額	雑	摘　要
明示テープ	年度表示付 水道用	m	139				EZ0002
埋設シート	W＝１５０ 水道用	m	533				EZ0001
水道用マーカーピン	フジテコム製（MK-1W）	本	21				EZ0004
合　計		式	1				

第2号の1 A012000 A01

布設工 1式当たり明細表

名称	規格	単位	数量	単価	金額	雑	摘要
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管 φ100mm		式	1				
ポリエチレン管据付工	呼び径100mm	m	195				第1号単価表
ポリエチレン管継手工	呼び径100mm 融着接合	口	39				第2号単価表
メカニカル継手工	離脱防止割増30% 特殊押輪割増0% 呼び径100mm	口	1				第3号単価表
[撤去管]鋳鉄管継手取外し	ﾌﾗﾝｼﾞ継手 JWWA7.5K 呼び径100mm	口	1				第4号単価表
フランジ継手工	JWWA 7.5K 呼び径100mm	口	1				第5号単価表
ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管 φ50mm以下		式	1				
ポリエチレン管据付工	呼び径50mm	m	338				第6号単価表
ポリエチレン管継手工	呼び径50mm	口	17				第7号単価表
ポリエチレン管切断工	呼び径50mm	口	1				第8号単価表

第2号の2 A012000 A01

布設工 1式当たり明細表

名称	規格	単位	数量	単価	金額	雑	摘要
小口径管ねじ込み接合	鋼管 呼び径50mm	口	1				第9号単価表
硬質塩化ビニル管据付工	呼び径50mm	m	6.3				第10号単価表
TS継手工	呼び径50mm	口	6				第11号単価表
硬質塩化ビニル管切断工	呼び径50mm	口	3				第12号単価表
仕切弁 バタフライ弁設置(人力) 縦・横型	呼び径50mm	基	1				第13号単価表
仕切弁・空気弁ボックス撤去工	ねじ式弁筐 A・B形 1号 底版有り	箇所	1				第14号単価表
仕切弁・空気弁ボックス設置工	ねじ式弁筐 A・B形 1号 底版有り	箇所	2				第15号単価表
管明示シート工		m	533				第16号単価表
管明示テープ工(ポリエチレン管布設工)	呼び径100mm	m	195				第17号単価表
管明示テープ工(ポリエチレン管布設工)	呼び径50mm	m	338				第18号単価表

第2号の3 A012000 A01

布設工 1式当たり明細表

名　　称	規　　格	単位	数　　量	単　　価	金　　額	雑	摘　　要
合　計		式	1				

第3号 A013000 A01

土工事 1式当たり明細表

名称	規格	単位	数量	単価	金額	雑	摘要
舗装版切断	ｱｽﾌｧﾙﾄ舗装版 15cm以下	m	1,070				第19号単価表
舗装版取壊し積込工	舗装厚0cm超え10cm以下	㎡	295				第20号単価表
ｱｽﾌｧﾙﾄ塊処理	DID区間無し 路面状態良好 運搬距離6.5km	m3	15				第21号単価表
処分費	アスファルト	ｍ３	15				第22号単価表
バックホウ掘削積込		m3	290				第23号単価表
発生土処理	DID区間無し 路面状態良好 運搬距離4km	m3	217				第24号単価表
管路埋戻(機械埋戻・バックホウ)	ﾀﾝﾊﾟ締固め 山砂	m3	96				第25号単価表
管路埋戻(機械埋戻・バックホウ)	ﾀﾝﾊﾟ締固め 発生土	m3	75				第26号単価表
合 計		式	1				

第4号 A014000 A01

舗装工 1式当たり明細表

名称	規格	単位	数量	単価	金額	雑	摘要
路盤工	舗装幅 1.8m未満 再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ RC-40 路盤厚40cm(3層)	㎡	295				第27号単価表
表層（車道・路肩部）	45mm以上55mm未満 1.4m未満	ｍ２	295				第28号単価表
合　計		式	1				

第5号 A021000 A01

安全費 1式当たり明細表

名称	規格	単位	数量	単価	金額	雑	摘要
交通誘導警備員B		人					
合　計		式	1				

第6号 A031000 A01

通水試験工 1式当たり明細表

名称	規格	単位	数量	単価	金額	雑	摘要
通水試験工	給水車不要	日					第35号単価表
合 計		式	1				

第25号 JS80012 J01

管路埋戻(機械埋戻･バックホウ) 100m3当たり単価表

ﾀﾝﾊﾟ締固め 山砂

1-1-2

名　称	規　格	単位	数　量	単　価	金　額	雑	摘　要
土木一般世話役		人					RA125
普通作業員		人					RA010
バックホウ運転		時間					第29号単価表
タンパ運転(賃料)	60～80kg	日					第32号単価表
砂	クッション用	ｍ３	126				TCE36
諸雑費		式	1				
合　計		m3	100				
単位当り		m3	1				
埋戻材料 A = 02　山砂 埋戻材数量(m3/100m3) B = 126				ﾊﾞｯｸﾎｳ規格C = 13　排対1次 山積0.28m3(平積0.20m3)			

第26号 JS80012 J02

管路埋戻(機械埋戻･バックホウ) 100m3当たり単価表

ﾀﾝﾊﾟ締固め 発生土

1-1-2

名　称	規　格	単位	数　量	単　価	金　額	雑	摘　要
土木一般世話役		人					RA125
普通作業員		人					RA010
バックホウ運転		時間					第29号単価表
タンパ運転(賃料)	60～80kg	日					第32号単価表
諸雑費		式	1				
合　計		m3	100				
単位当り		m3	1				
埋戻材料 埋戻材数量(m3/100m3)	A = 01　発生土 B = 0			ﾊﾞｯｸﾎｳ規格C = 13　排対1次 山積0.28m3(平積0.20m3)			

第27号 JS80040 J01

路盤工 100㎡当たり単価表

舗装幅 1.8m未満
再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ RC-40 路盤厚40cm(3層)
1-1-4

名称	規格	単位	数量	単価	金額	雑	摘要
普通作業員		人					RA010
再生クラッシャラン	ＲＣ－４０	ｍ３	50.8				TCF04
タンパ運転(賃料)	60～80kg	日					第33号単価表
諸雑費		式	1				
合　計		㎡	100				
単位当り		㎡	1				
施工幅 A = 01 1.8m未満 路盤材料 B = 05 再生ｸﾗｯｼｬｰﾗﾝ RC-40				路盤厚C = 40 路盤種別D = 01 上層路盤			

第28号の1 SZD023 J01

表層（車道・路肩部） 1ｍ２当たり単価表

45mm以上55mm未満
1.4m未満

名　　称	規　　格	単位	数　　量	単　　価	金　　額	雑	摘　　要
振動ローラ（舗装用）［ハンドガイド式］							MC246
振動コンパクタ［前進型］							
特殊作業員							RA005
普通作業員							RA010
土木一般世話役							RA125
アスファルト混合物	エコスラグ入り再生密粒度アスコン（２０）						
アスファルト乳剤	ＰＫ－３　プライムコート用						TG402
ガソリン	レギュラー　スタンド						TSX32
軽油	１．２号						TSX24
積算単価		式	1				

第28号の2 SZD023 J01

表層（車道・路肩部） 1ｍ２当たり単価表

45mm以上55mm未満
1.4m未満

名称	規格	単位	数量	単価	金額	雑	摘要
平均厚さ	A = 03 45mm以上55mm未満		瀝青材料種類F = 02 ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ PK-3				
平均幅員	B = 01 1.4m未満		（選択省略） G = 01 *				
標準締固め後密度	C = 01 2.35t/m3		ｱｽﾌｧﾙﾄ混合物夜間割増H = 01 夜間割増なし				
瀝青材料種類	D = 02 ﾌﾟﾗｲﾑｺｰﾄ		豪雪割増I = 02 豪雪割増なし				
材料	E = 24 エコスラグ入り再生密粒度アスコン(20)-50		再資源化施設からの運搬距離 J = 01 運搬距離 ４０ｋｍ以下				

野沢町配水管新設工事その2

管布設工・明示シート

管	種	延 長			制水弁数		布設延長
DIP	φ75		m－(	0.24 ×		)＝ m	m
	φ100		m－(	0.25 ×		)＝ m	m
	φ150		m－(	0.28 ×		)＝ m	m
	φ200		m－(	0.3 ×		)＝ m	m
	φ250		m－(	0.38 ×		)＝ m	m
	φ300		m－(	0.4 ×		)＝ m	m
	φ350		m－(	0.43 ×		)＝ m	m
PP	φ75		m－(	0.24 ×		)＝ m	m
	φ100	195	m－(	0.25 ×		)＝ 195 m	195 m
	φ150		m－(	0.28 ×		)＝ m	m
PP	φ50	338	m－(	0.158 ×		)＝ 338 m	338 m
VP	φ50						6.3 m
合計		533			0	533 m	

明示テープ

DIP	φ75	m×	0.33	＝	m	
	φ100	m×	0.42	＝	m	
	φ150	m×	0.64	＝	m	
	φ200	m×	0.83	＝	m	
	φ250	m×	1.02	＝	m	
	φ300	m×	1.22	＝	m	
	φ350	m×	1.18	＝	m	
PP	φ75	m×	0.34	＝	m	
	φ100	195 m×	0.47	＝	91.65 m	
	φ150	m×	0.55	＝	m	
PP	φ50	338 m×	0.14	＝	47.32 m	
					138.97 m	

マーカーピン

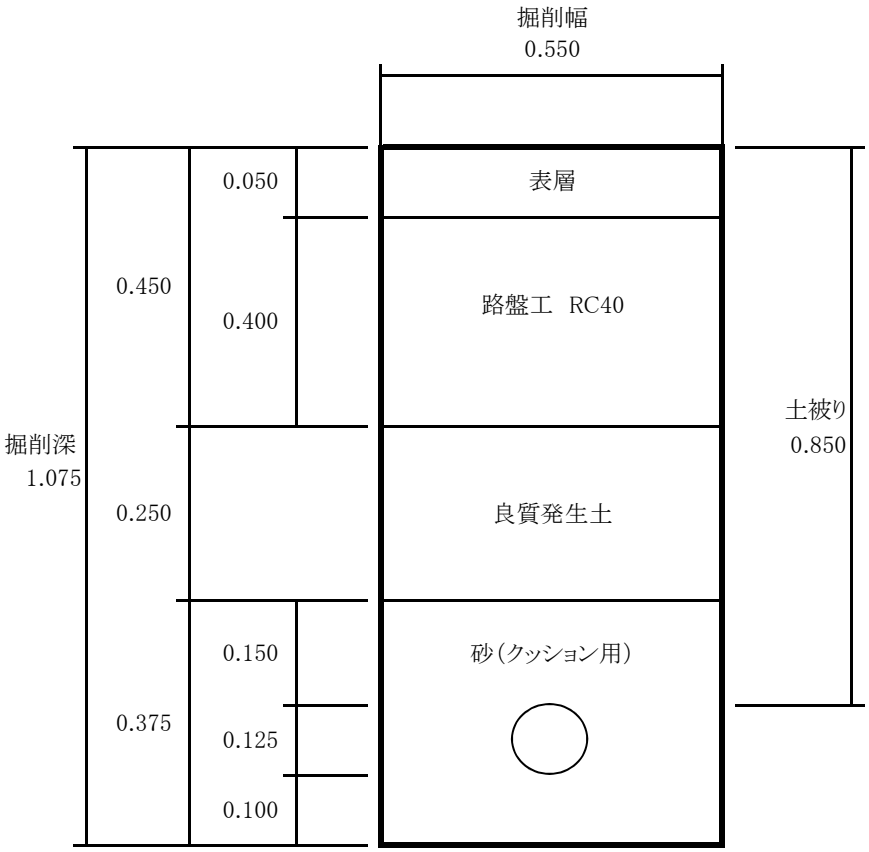
21箇所

土工数量計算　集計表

種　　別	市道 B PPφ100	市道 B PPφ50	市道 B 排泥弁	市道B(土) 排泥弁				合　計	単　位
舗装版切断工 (t≦10cm)	390.000	676.000	7.800					1073.800	m
舗装版直接掘・積込 (t≦5cm・BH0.20m3)	107.250	185.900	2.145					295.295	m2
ﾊﾞｯｸﾎｳ掘削積込 (BH0.20m3)	109.931	178.464	2.059	1.333				291.787	m3
人力床拵え	107.250	185.900	2.145	1.320				296.615	m2
山砂埋戻工 (BH0.20m3)	37.879	56.615	0.653	0.402				95.549	m3
発生土埋戻工 (BH0.2m3)	26.813	46.475	0.536	0.924				74.748	m3
残土処理 (4t車・BH0.20m3積込)	83.118	131.989	1.523	0.409				217.039	m3
As塊運搬・処理工 (4t車・BH0.20m3積込)	5.363	9.295	0.107					14.765	m3
車道路盤工 (t=40cm)	107.250	185.900	2.145					295.295	m2
表層 (Pｺｰﾄ, t=5cm)	107.250	185.900	2.145					295.295	m2

土工数量計算書　（市道B（車道））　PPφ100　土被り L＝ 0.850m

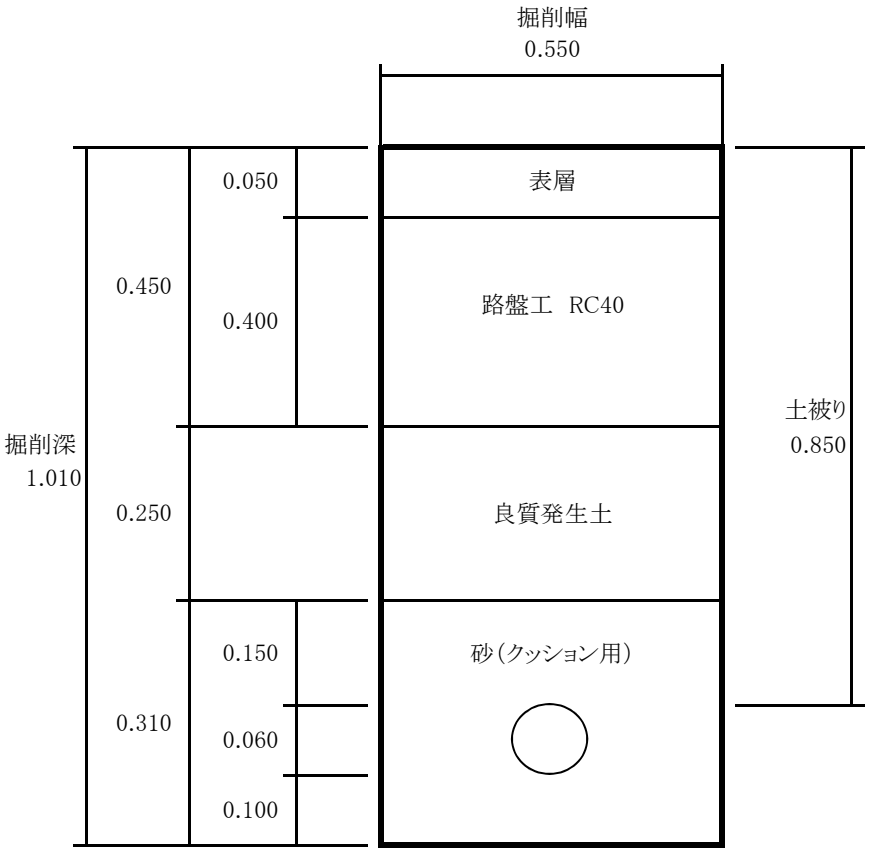
土 工 延 長 L = 195.00m



種　別		数　量	単　位
舗装版切断工 （ t= 10cmまで ）	195.000 × 2.000	390.000	m
舗装版直接掘削・積込 (t=5cm以下・BH0.20m^3)	0.550 × 195.000	107.250	m2
ﾊﾞｯｸﾎｳ掘削積込 (BH0.20m^3)	(1.075 － 0.050)× 0.550 × 195.000	109.931	m^3
人力床拵え工	0.550 × 195.000	107.250	m^2
山砂埋戻工(BH0.20m^3)	(0.550 × 0.375 － 0.012)× 195.000	37.879	m^3
掘削土埋戻工(BH0.20m^3)	0.550 × 0.250 × 195.000	26.813	m^3
ダンプトラック土砂運搬 (4tﾀﾞﾝﾌﾟ)	109.931 － 26.813	83.118	m^3
アスファルト殻運搬・処理 (4tﾀﾞﾝﾌﾟ)	107.250 × 0.050	5.363	m^3
路盤工 (t=40cm)	0.550 × 195.000	107.250	m^2
表層工 (t=5cm)	0.550 × 195.000	107.250	m^2

土工数量計算書　（市道B（車道））　PPφ50　土被り L＝ 0.850m

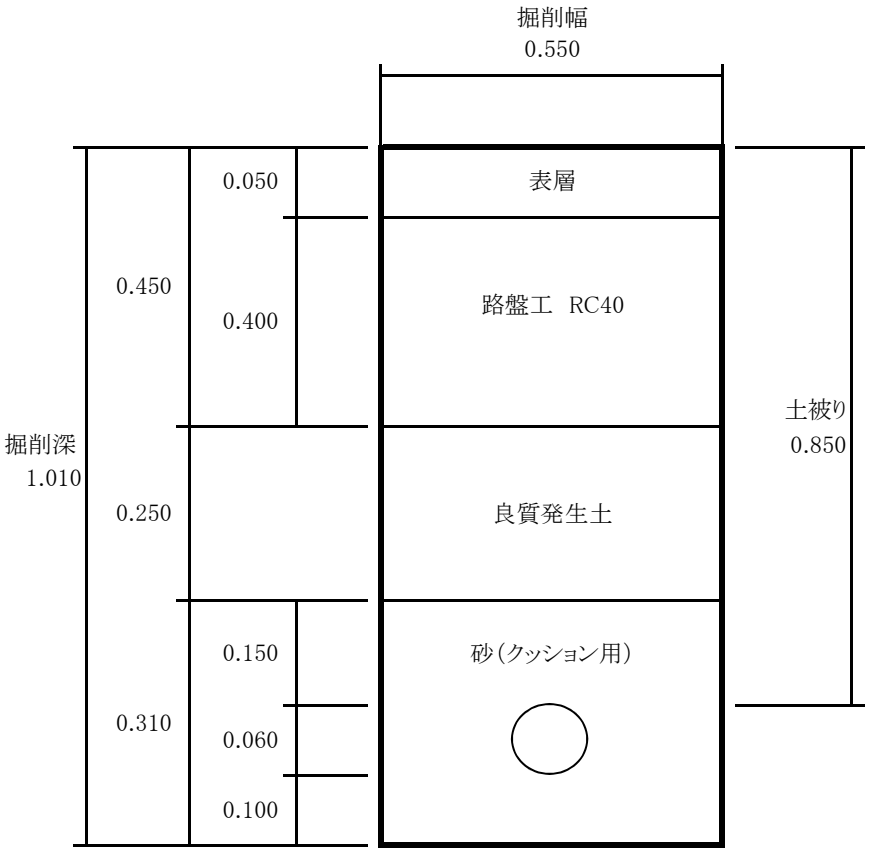
土 工 延 長 L = 338.00m



種　別		数　量	単　位
舗装版切断工 （ t= 10cmまで ）	338.000 × 2.000	676.000	m
舗装版直接掘削・積込 (t=5cm以下・BH0.20m^3)	0.550 × 338.000	185.900	m2
ﾊﾞｯｸﾎｳ掘削積込 (BH0.20m^3)	(1.010 － 0.050)× 0.550 × 338.000	178.464	m^3
人力床拵え工	0.550 × 338.000	185.900	m^2
山砂埋戻工(BH0.20m^3)	(0.550 × 0.310 － 0.003)× 338.000	56.615	m^3
掘削土埋戻工(BH0.20m^3)	0.550 × 0.250 × 338.000	46.475	m^3
ダンプトラック土砂運搬 (4tﾀﾞﾝﾌﾟ)	178.464 － 46.475	131.989	m^3
アスファルト殻運搬・処理 (4tﾀﾞﾝﾌﾟ)	185.900 × 0.050	9.295	m^3
路盤工 (t=40cm)	0.550 × 338.000	185.900	m^2
表層工 (t=5cm)	0.550 × 338.000	185.900	m^2

土工数量計算書　（市道B（車道））　VPφ50　土被り L＝ 0.850m

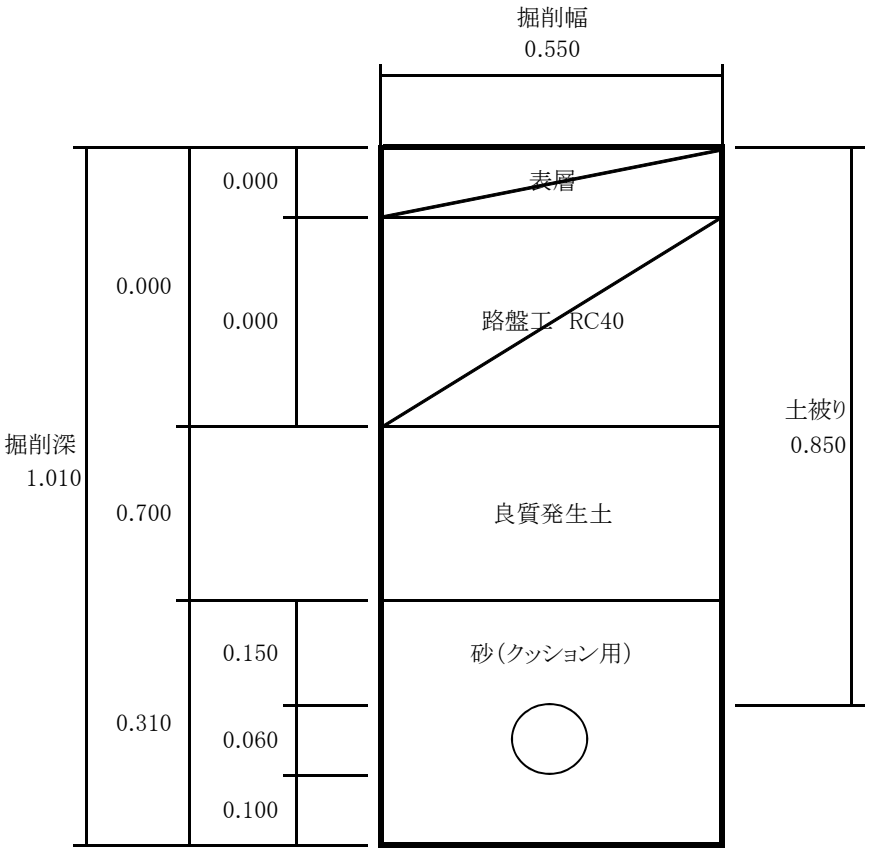
土 工 延 長 L ＝ 3.90m　　排泥



種　別		数 量	単 位
舗装版切断工 （ t= 10cmまで ）	3.900 × 2.000	7.800	m
舗装版直接掘削・積込 (t=5cm以下・BH0.20m^3)	0.550 × 3.900	2.145	m2
ﾊﾞｯｸﾎｳ掘削積込 (BH0.20m^3)	(1.010 － 0.050)× 0.550 × 3.900	2.059	m^3
人力床拵え工	0.550 × 3.900	2.145	m^2
山砂埋戻工(BH0.20m^3)	(0.550 × 0.310 － 0.003)× 3.900	0.653	m^3
掘削土埋戻工(BH0.20m^3)	0.550 × 0.250 × 3.900	0.536	m^3
ダンプトラック土砂運搬 (4tﾀﾞﾝﾌﾟ)	2.059 － 0.536	1.523	m^3
アスファルト殻運搬・処理 (4tﾀﾞﾝﾌﾟ)	2.145 × 0.050	0.107	m^3
路盤工 (t=40cm)	0.550 × 3.900	2.145	m^2
表層工 (t=5cm)	0.550 × 3.900	2.145	m^2

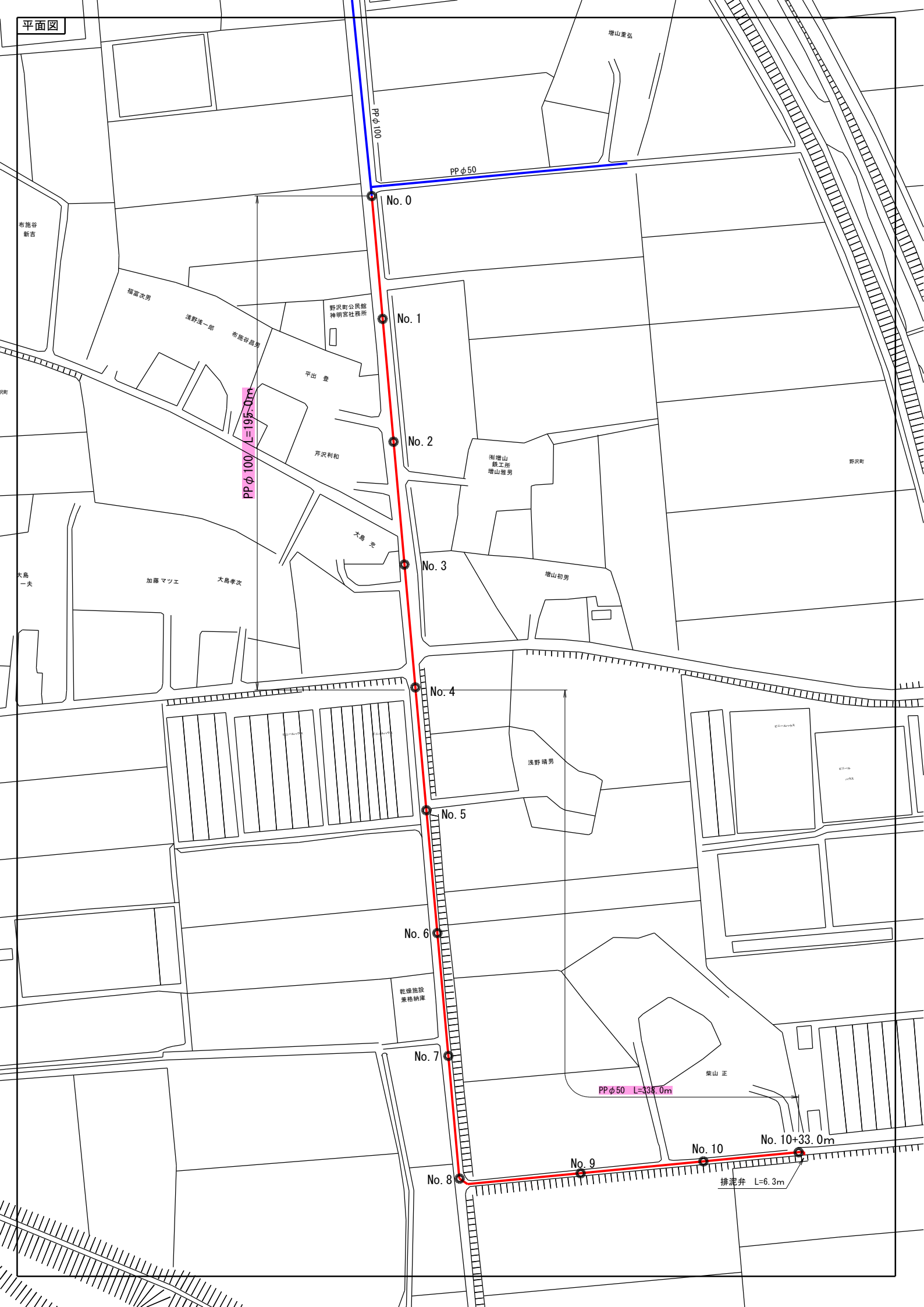
土工数量計算書　（市道B（土砂））　VPφ50　土被り L＝ 0.850m

土 工 延 長 L ＝ 2.40m　　排泥

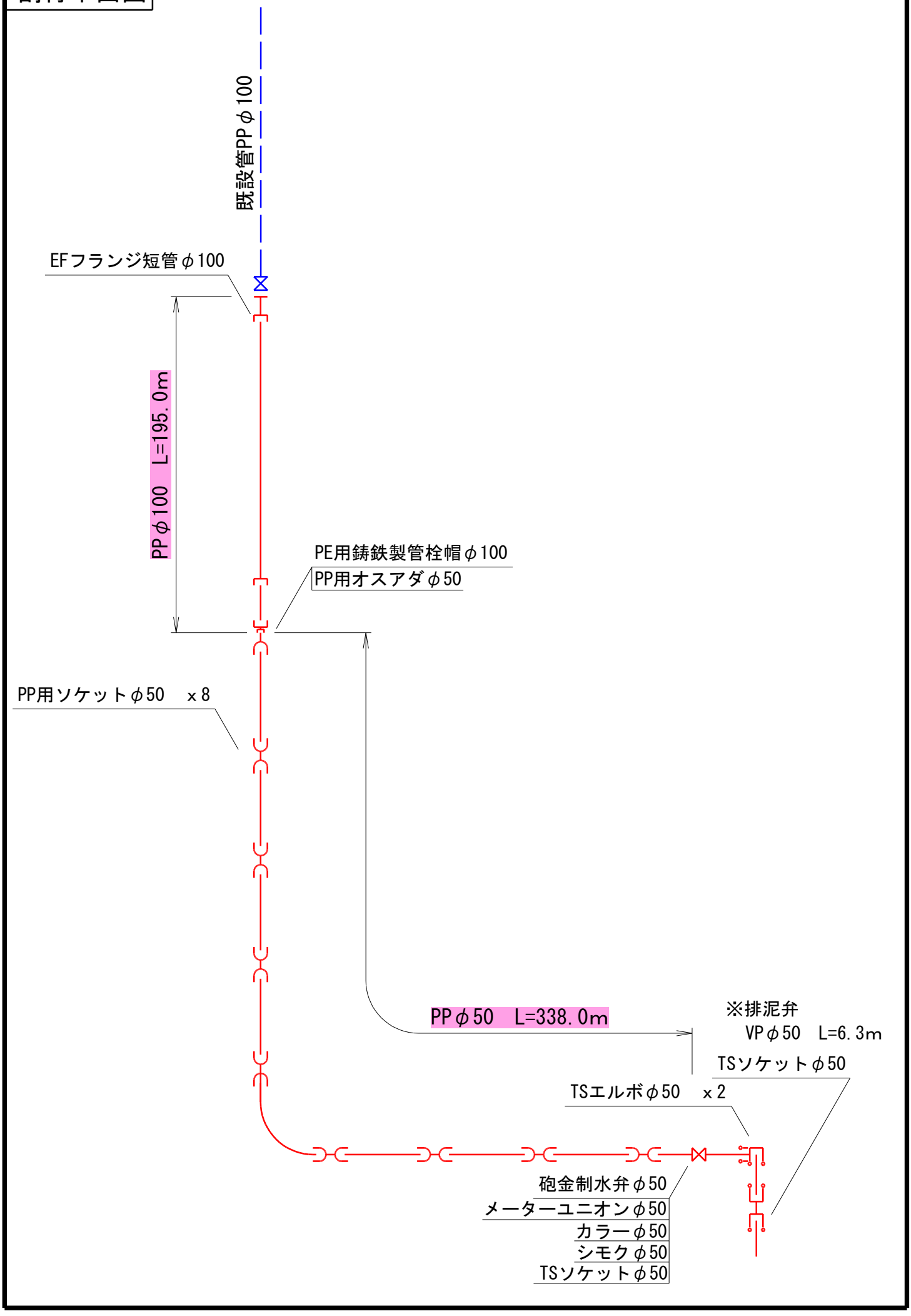


種　別		数　量	単　位
ﾊﾞｯｸﾎｳ掘削積込 (BH0.20m^3)	(1.010 － 0.000)× 0.550 × 2.400	1.333	m^3
人力床拵え工	0.550 × 2.400	1.320	m^2
山砂埋戻工(BH0.20m^3)	(0.550 × 0.310 － 0.003)× 2.400	0.402	m^3
掘削土埋戻工(BH0.20m^3)	0.550 × 0.700 × 2.400	0.924	m^3
ダンプトラック土砂運搬 (4tﾀﾞﾝﾌﾟ)	1.333 － 0.924	0.409	m^3

野沢町配水管新設工事その2　位置図


平面図
PPφ100
PPφ50
No. 0
No. 1
No. 2
No. 3
No. 4
No. 5
No. 6
No. 7
No. 8
No. 9
No. 10
No. 10+33.0m
PPφ100 L=195.0m
PPφ50 L=338.0m
排泥弁 L=6.3m
増山重弘
布施谷 新吉
福富次男
浅野浅一郎
布施谷昌男
野沢町公民館
神明宮社務所
平出 登
芹沢利和
㈲増山
鉄工所
増山雅男
野沢町
大島 充
大島
一夫
加藤 マツエ
大島孝次
増山初男
浅野 晴男
乾燥施設
兼格納庫
柴山 正

割付平面図

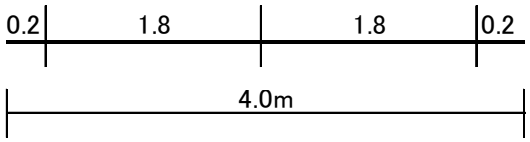

既設管PPφ100
EFフランジ短管φ100
PPφ100　L=195.0m
PE用鋳鉄製管栓帽φ100
PP用オスアダφ50
PP用ソケットφ50　x8
PPφ50　L=338.0m
※排泥弁
VPφ50　L=6.3m
TSソケットφ50
TSエルボφ50　x2
砲金制水弁φ50
メーターユニオンφ50
カラーφ50
シモクφ50
TSソケットφ50

1 管明示テープ(胴巻テープ)施工数量

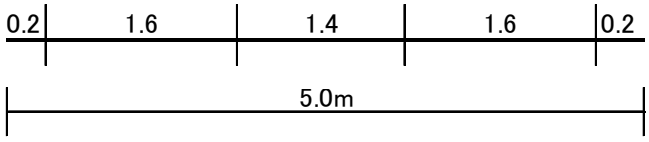
管種	口径	直管の長さ(m)	直管1本当り(m)	施工延長1m当り(m)
DIP	φ75	4.0	1.31	0.33
	φ100	4.0	1.67	0.42
	φ150	5.0	3.19	0.64
	φ200	5.0	4.15	0.83
	φ250	5.0	5.12	1.02
	φ300	5.0	6.08	1.22
	φ300	6.0	6.08	1.01
	φ350	6.0	7.05	1.17
	φ400	6.0	14.02	2.34
	φ450	6.0	14.99	2.50
VP	φ75	5.0	1.68	0.34
	φ100	5.0	2.15	0.43
	φ150	5.0	3.11	0.62
PP	φ50	40.0	28(1箇所/2.0m)	0.14
PE	φ50	5.0	1.19	0.24
	φ75	5.0	1.70	0.34
	φ100	5.0	2.36	0.47

2 管明示テープ施工方法

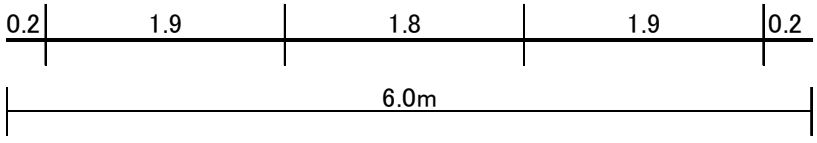
直管1本当り4.0mの場合



直管1本当り5.0mの場合



直管1本当り6.0mの場合



3 注意事項

1) 明示テープは、1箇所当り1.5周(1巻半)巻き付ける。
2) 明示テープの施工間隔は、上記施工方法のとおりとする。
3) ポリエチレンスリーブ被覆工を施工する場合は、管に明示テープを直接巻き付け、スリーブは専用テープ又は専用バンドで固定する。
4) 上記の施工方法は、直管1本当りの場合であり、曲管については、中間に1箇所、T字管・十字管については、その全口数(全方向数)施工する。
5) ポリエチレン管φ50については2.0mに1箇所、施工する。
6) φ400以上の場合、管に巻き付けると共に天端にも施工する。

別紙様式２－２

まわり道標示板

備　考

（１）色彩は、矢印、起終点の記号、通行止区間を赤色、緑の余白は赤色、その他の文字、記号、地図、迂回路を青色、下地を白色とする。

（２）緑の余白は２cm、緑線の太さは１cm とする。